

# めいか

令和6年11月29日  
文京区立明化幼稚園

## 気持ちに寄り添う豊かな体験

副園長 山下 美幸

今年も残り1か月となりました。沿道のイチョウや紅葉も少しずつ色づき、また空気の冷たさを体感する中で、秋から冬への季節の移り変わりを感じるようになりました。保育室では、落ち葉の飾りや収穫の秋が感じられる壁面環境やドングリを使っての遊びなど季節感のある遊びをしています。

先日、私が荷物を運んでいると、廊下で遊んでいたAさんが、私の歩く方向にあった小さなテーブルを何も言わずに廊下の端に移動してくれたことがありました。荷物を運び終えた後にAさんの方を振り向くと、Aさんはにこっと微笑んでいます。運び終えた後に、Aさんに改めてお礼を伝えました。相手のことを気遣い行動してくれた自然な行為に気持ちが温くなりました。

また、別の日には、Bさんが廊下で気まずそうな表情をしている側で、CさんがBさんに声を掛けていました。話を聞いてみると、友達といざこざになり、保育室に戻ることをためらっていたBさんをCさんが励ましているところでした。Cさんの励ましにより、その後、Bさんは保育室に戻ることができました。Cさんは「こういうことは自分もあるから気持ちが分かる。Bさんは同じ組の仲間だから一緒に戻ろうと思った」と言っていました。友達が困っている姿から気持ちに寄り添ったり、察したりしている姿、そして何より、クラスの一員として大切な存在であるという気持ちで関わっている姿にとっても感銘を受け、嬉しくなるとともに成長を感じる出来事となりました。

相手の気持ちに寄り添った行動は、教え込んでできるようになることではありません。子ども自身が家族や教師、友達などに関わり、触れ合う実体験の中で、様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えたり、自分も大切にされたりする体験が基盤となり、「自己肯定感」にもつながっていくものです。これから迎える年末年始に、様々な人と関わる機会の中で体験したことが、子どもたちの心の糧となっていくことでしょう。

今学期も終わりに近づくにあたり、本園の教育活動にご協力いただきました保護者、地域の皆様に感謝いたします。引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

